

## ○ 赤木沢

平成 26 年 9 月 26 日（金夜）～29 日（月） 快晴 嶋原(L)、以倉、岡本、右田(記録)

この時期の北アルプスでの沢登りは寒そうだなと思いながら、紅葉が見頃なのと沢の美しさに惹かれて行くことにした。22 時に阪急池田駅に迎えにきてもらい、名神から湖西道路経由北陸道で有峰口方面に向かう。3 時にらいちょうバレーの駐車場に到着。テントを張り仮眠。有峰口のゲートの開く 6 時に合わせて起床。ゲートを 6 時過ぎに通過し、折立に 7 時に到着。駐車場はすでに 8 割がた駐車している。各自簡単な朝食を取り、7 時 40 分に登り始める。太郎平小屋まで 5 時間の登りだ。夏に登ると暑さでしんどいコースだが、今回は気温が低いので快適に登る。荷物が重いが結構ハイペースで進み、太郎平小屋に 11 時 25 分に到着。所要 3 時間 45 分。小屋にテントなど沢登りに不要な装備を預かってもらい、11 時 50 分に薬師沢を目指して出発。途中、紅葉や冷たい湧き水を楽しみながら進み、薬師沢小屋に 13 時 55 分に到着。6 人部屋の個室を割り当ててもらい、早速テラスにて冷えたビールで乾杯。2 L のビールが瞬間に空に。溪流、紅葉、青空といったロケーションで最高の気分。結局、17 時に夕食の声が掛かるまで宴会。夕食を美味しくいただき、その後はバタンキュー。



(薬師沢小屋)



(とりあえず乾杯)



(黒部川奥の廊下)

28 日(日) 快晴。以倉さんが 4 時頃からごそごそ。「以倉さん、まだ早いで。」と嶋原さん。「5 時に出ると違やうの。」こちらはそんなに早く出たら沢の水がちみたいでと思い布団から出ず。5 時前にトイレに立つと以倉さんが「御岳山が噴火してえらい事になってるで。」と教えてくれる。状況がよくわからないまま、6 時に小屋を出発。黒部川源流を河原沿いに遡っていく。水量が少なくて渡渉するのも苦にならない。1 時間 40 分ほどでナイヤガラと呼ばれる小滝が見え、赤木沢出合に到着。ここから赤木沢に登る。水量が一段と少なくなり、ナメ滝でどこでも簡単に登れる。嶋原さんや以倉さんは物足りないようすが、初心者には緊張感がなく、開放的な沢ですばらしいと思う。嶋原さんは前日に痛めた足首が痛み、楽しむどころではないが。滝を直登するところもあれば、高巻きもあり。いくつかの滝を越えてやがて大滝の前に出る。右側から高巻きし、滝の落ち口へ。さらに登っていくと沢の分岐が 2 箇所ほどあり、いずれも左に進み、やがて水が絶え、草付きとなる。ハイマツ帯をかき分けて中股乗越に 11 時 35 分に到着。後は、稜線を太郎平まで歩くだけだが、黒部五郎岳に登ったことがなかったので、私一人黒部五郎をピストンすることに。11 時 50 分に皆さんと別れ、黒部五郎を目指す。手前の山を越え、黒部五郎が近づくと結構山がでかい。疲れているがここはひたすら登るだけ。ようやくカールへ行く分岐を過ぎ、13 時に頂上。頂上からは紅葉したカールが見事である。カールの一角には黒部五郎の小屋も見える。機会があればまた、三俣蓮華方面からカールを通してここまで歩きたいものだ。17 時までにはテント場に着きたいので、ゆっくりする間もなく、折り返し。中俣乗越に 14 時到着。休憩を最小限にしてひたすら歩く。太郎小屋に 16 時 15 分到着。ガスってきた。小屋に声を掛けてテント場へ。16 時 30 分テント場到着。今日は約 11 時間の行動で疲れ

たが充実した一日であった。テントを設営後、外で宴会。20時過ぎに就寝。



(上段3枚、上、赤木沢)

(黒部五郎岳)

(黒部五郎岳カール)

29日(月)。今日も前日同様快晴である。鳴原さんは足首の調子が悪いので、早めに下山することに。我々は3人で薬師岳を目指す。3人ともすでに何回か登っているが、絶好の天気なので登ることに。テント場を6時出発。空気がひんやりして気持ちがいい。途中建て替わった薬師岳山荘を過ぎ、山頂に7時50分に到着。雲一つない天気恵まれ360度の展望。槍、鷲羽、水晶、赤牛、剣など名だたる山が一望できる。そして遠く富士山も。御岳の噴煙も確認できる。記念撮影の後下山。9時20分テント場に到着し、テントを撤収する。太郎小屋に挨拶し、10時40分に折立に下山開始、折立に13時30分着。車で鳴原さん昼寝中。14時に折立を出発し、途中温泉に入浴し、21時頃鳴原宅到着。3日間、好天に恵まれ、沢登り、黒部五郎岳と薬師岳に登頂し非常に充実した山行であった。足首を痛めながら、最後まで付き合っていた鳴原さんに感謝します。ありがとうございました。



(薬師岳山頂)

(穂高連峰遠望)

(下山中、薬師岳を望む)